

ささえ、ささえられて
ホッと、安心～みんなの笑顔

※知ってほしい※

福祉の話

このコーナーでは、福祉の制度やよくある質問についてお知らせします。

福祉課

第7回目は【手話奉仕員派遣事業】についてお知らせします。

福祉課では、聴覚および音声または言語機能に障がいがある方が公的機関やそのほかなどに赴く場合、コミュニケーションが円滑にできるよう支援するため、手話奉仕員を派遣しています。

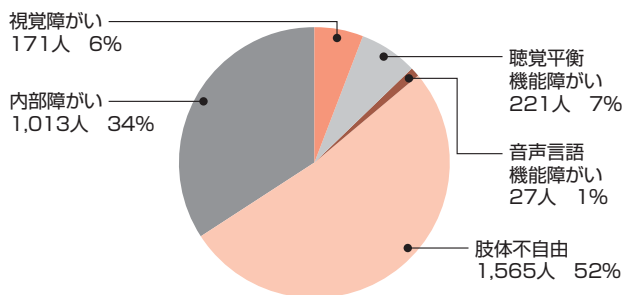
◆**対象者** 聴覚障がい者および音声または言語機能障がい者で手話が理解できる方

◆**派遣の条件** おおむね次の通りです。

1. 公的機関、医療機関に赴くなど、外出が必要なとき
2. 社会参加促進の観点から、外出が必要なとき
3. 聴覚障がい者などの自宅において、教育相談などを行う必要があるとき

◆**費用** 無料

【障がい種類別の身体障がい者数（平成20年4月1日現在）】



手話の存在を知っている方は多いと思いますが、市内には、手話のできる方・分かる方が少ないのが現状です。手話は、聴覚・音声・言語機能に障がいを持つ方にとって、大切な意思伝達手段ですが、手話のできる方・分かる方がいなくては、意思を伝えることができません。

また、自分には無縁のことでは…と知っている方もいるかもしれませんが、障がいは、障がい者固有のことではありません。病気・事故・けがなどで、誰もが突然にかかわることになるかもしれません。

みんながコミュニケーションの取れる、住みやすい街づくりの一つとして、手話を覚えてみてはいかがでしょうか。

詳しくは、福祉課障害・給付係（内線152）へ。

～手話に興味のある皆さんへ・手話ボランティアサークルのご紹介～

ボランティア団体「土岐手話サークル竹の子」をご存じですか。竹の子では、サークル活動を通して手話を学び、仲間づくりをするとともに、手話講座、講演会の開催や各種行事などへ手話ボランティアスタッフとして参加しています。手話に興味のある方、手話を通じて障がいを持つ方をサポートしたいと思っている方は「土岐市ボランティア連絡協議会（ウエルフェア土岐内・☎⑤76661）」へお問い合わせください。



家庭でできる健康保持・増進
カラダ
らきらき
ヤング
healthy
健康な毎日、健康な口から

① 健康な口にするのが、生き生きとした毎日を過ごすための第一歩です。皆さんも口の状態を把握しましょう。

1. 口腔機能のチェック

① こんな症状はありませんか？

- ・ 固いものが食べにくくなった
- ・ お茶や汁物などでむせる
- ・ 口の渇きが気になる
- ・ 口に食べ物が残る

こんな症状が頻繁に起こる場合は、口の機能の低下が疑われます。かかりつけの医師に相談しましょう。

② 口を湿らせ、30秒間に唾液を何回飲み込めますか？

3回未満の場合は、嚥下機能（口の中の飲食物を胃まで送り込む働き）が低下している可能性があります。

2. 唾液腺マッサージ

健康な口を保つため、唾液はとても大切です。唾液腺マッサージを行いましょう。

《食事の前が効果的です》

耳下腺（じかせん）
指をほおに当て、上の奥歯の辺りを後ろから前へ回します（10回）

顎下腺（がつかせん）
親指をあごの骨の内側の軟らかい部分に当て、耳の下からあごの下まで押します（5カ所×10回）

舌下腺（ぜつかせん）
両手の親指をそろえ、あごの真下から舌を突き上げるようにゆっくりグーッと押します（10回）